

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム すまいる水谷

2 目標達成計画

作成日: 令和 2年 3月 12日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	6	身体拘束等適正化検討委員会を定期的を開催し、記録を職員に周知すると共に研修を実施して、全職員が拘束について理解を深める努力が必要である。	身体拘束等適正化検討委員会は、2ヶ月に1回開催する「運営推進会議」を活用して、実施する。職員への周知と研修は、「身体拘束とは」や「身体拘束の具体例」からスタートし、順次「拘束」について理解を深める。	3月18日に開催する「運営推進会議」の議題として取り上げ、委員会を開催する。職員の教育は隔月に実施して、身体拘束がなくても、拘束がもたらす身体的弊害や精神的弊害についても研修して、より知識を深める。	10ヶ月
2					
3					
4					
5					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。